

(様式3)

令和7年度 みんなが主役！しまねの公民館支援事業 実績報告書

市町村名	江津市	公民館等の名称	渡津地域コミュニティ交流センター
------	-----	---------	------------------

事業の目的	<p>○地域内の幼児から高校生までが交流センターに集い、各団体のねらいが達成できるような場を創出する。</p> <p>○子どもたちと地域住民との交流の場を創出することで、地域ぐるみで子どもたちを育もうとする気運を高める。</p>
-------	--

事業の実施期間	1年目
---------	-----

事業の内容	<p>○事業の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所、小学校、高校、養護学校の児童・生徒 ・ 地域住民 <p>○活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流センターでのさつまいも栽培や収穫物を活用した「わたづまつり」（地域の文化祭の名称）にて、幼児、児童・生徒同士、子どもたちと地域住民が交流する。 ・ 交流センターを拠点に、高校生と小学生を主に各々が活動したいことを支援する。 <p>[集うためのしかけ・工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さつまいもの収穫については、協力者で教育関係機関が参加しやすいように平日とし、地域全体での収穫は、多くの参加者に収穫を楽しんでもらえるよう休日とした。 ・ 活動内容が小さな子どもたちには苗植えと収穫に参加してもらい、畝づくり、水やりなどは高校生を中心に地域の有志と行った。高校生等にはスタッフ側の動きをさせることで達成感を味わせるとともに成長の場とした。 <p>[楽しむためのしかけ・工夫]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を中心に、参加する子どもたちが収穫を楽しめるように、又飽きないように、掘った芋の重さを競争し、景品にお菓子などを用意して収穫を楽しんだ。また、有志の方を中心に芋つるを調理して参加者に振舞ったところ、若い世代を中心に「初めて食べた」「おいしかった」など調理していただいたスタッフ及び参加者がみんな笑顔になれた。 ・ 祭りを通して収穫物を利用し、高校生は豚汁を。センターではまちづくり協議会役員が協力をし、芋プリン、焼き芋を提供して来場者と秋の味覚を楽しんだ。 <p>畝づくり</p>  <p>苗植え</p> 
-------	--

収穫



いもづる試食



わたづまつり



○関係機関との連携（他館、他部局、公民館担当課との連携等についてお書きください）

保育所、小学校、児童クラブ、養護学校、高校（インターアクト部を中心に）、婦人会、社会教育課、地域振興課

活動の様子
などを周知
した方法

- ① 館報
- 2 公民館ホームページ
- 3 SNS
- ④その他（具体的に 各団体にチラシを掲示した ）

成果・効果
課題
今後の見通し

- ・高校生が中心となって、さつまいも栽培を通じた多世代の交流ができたと思うが、高校生の達成感・満足感については、畝づくりからさつまいも苗の定着までは活動したが、それ以降草取りやつる返しなど、多くの収穫をする手段に必要な参加がなく、もう一歩だったと思う。
- ・子どもたち同士、子どもたちと地域住民が交流したことで、以前よりも声を掛け合う回数が増えたと思うことから、継続してみたい。